

第28章 防災

28-1 稚内市における災害発生と被害概況

平成30年12月31日現在

発生年月日	種別	災害状況
明治44年5月17日	火災	異常乾燥中、市街地裏山で火災発生。飛火で752棟焼失
大正6年4月29日	海難	暴風のため漁夫数十人溺死
昭和3年10月25日	火災	中央3丁目から出火。681棟焼失、焼死者2人
昭和5年11月1日	火災	中央2丁目から出火。216棟焼失
昭和12年8月6日	大雨	家屋半壊26棟、流失6棟、浸水344棟、畑冠水1,403ha
昭和14年8月12日	海難	暴風のため宗谷沖で漁船18隻遭難。死者多数
昭和15年5月	山火事	勇知～声問間で山林火災。5日間延焼
昭和21年8月12日	火災	中央4丁目から出火。6棟17焼失
昭和23年9月9日	台風	漁船遭難多数。死者7人
昭和25年8月27日	大雨	家屋浸水521棟
昭和26年2月22日	暴風雪	20箇所で雪崩発生。高校生2人凍死
昭和27年10月22日	海難	稚内漁業協同組合所属第5日進丸、暴風雨のため西稚内沿岸で遭難。死者31人
昭和29年12月26日	海難	暴風雪のため底曳漁船第11八東丸、声問沖で遭難。死者15人
昭和33年1月17日	海難	暴風雪のため底曳漁船第27八東丸、ノシャップ沖で遭難。死者15人
昭和34年1月31日	海難	スケソ刺網漁船久栄丸及び第3竜城丸、暴風雪のため遭難。死者10人
昭和35年1月17日	海難	底曳漁船第28八東丸、ノシャップ沖で遭難。死者15人
昭和36年3月9日	海難	底曳漁船第18やまさん丸遭難。死者17人
昭和38年2月14日	海難	底曳漁船第5大勢丸遭難。死者15人
昭和38年12月12日	海難	底曳漁船第30やまさん丸遭難。死者17人
昭和39年12月6日	海難	タラはえなわ漁船第11幸徳丸、火災により沈没。死者7人
昭和40年1月10日	海難	底曳漁船第18大安丸遭難。死者13人
昭和40年4月5日	海難	スケソ漁船欣照丸遭難。死者13人
昭和40年12月6日	海難	底曳漁船天祐丸遭難。死者19人
昭和41年9月4日	海難	底曳漁船第52八東丸遭難
昭和44年2月1～7日	暴風雪	暴風雪が続き交通途絶、稚内地方は孤立。富士見5丁目富士見団地で雪崩発生。死者2人、重傷1人、公営住宅1棟6戸のうち1戸全壊。1棟6戸のうち2戸半壊
昭和44年2月	海難	底曳漁船第38栄保丸、海馬島沖で遭難。死者13人
昭和45年2月9～10日	暴風雪	死者1人、行方不明1人。異常降雪のため10日間鉄道不通
昭和45年3月16～18日	暴風雪	帰宅途中の自衛隊員1人、富士見5丁目の丘陵で凍死
昭和45年10月25～26日	大雨	155.5mmの降雨により被害を受ける。 家屋床上浸水 174棟 230世帯 844人 被害額 1,070万円 家屋床下浸水 287棟 390世帯 1,336人 土木被害 8,430万円 農業被害 4,400万円
昭和46年11月9日	海難	ズワイガニ漁船第18幸徳丸、稚内港口付近で30m/s以上の突風と横波を受け転覆。死者16人。損害額2,460万円
昭和47年4月1日	海難	ニシン刺網漁船第28平和丸遭難。死者14人
昭和47年4月10日	海難	底曳漁船第32幸福丸火災。死者7人
昭和47年12月1～2日	暴風雪	電力関係及び鉄道通信系に大障害。全市にわたり5日間（一部7日間）停電、鉄道3日間不通。最大風速26.8m/s、最大瞬間風速38.4m/sは、稚内地方気象台開設以来の最高記録 家屋一部損壊 57棟 61世帯 199人 被害額 143万円 家屋床上浸水 2棟 8世帯 39人 被害額 40万円 土木被害 3,965万円 水産被害 380万円 農業被害 1,045万円 衛生被害 1,080万円 公共施設被害 580万円
昭和48年2月7日	海難	底曳漁船第50太平丸遭難。死者15人
昭和49年4月4日	雪崩	中央3丁目目で融雪雪崩が発生。住宅1戸全壊、死者2人

発 生 年 月 日	種 別	災 害 状 況
昭和 51 年 3 月 15 日	海難	ニシン刺網漁船第 58 富丸、ノシヤップ沖で遭難。死者 4 人
昭和 53 年 12 月 6 日	海難	底曳漁船第 3 大輝丸 (124t) 宗谷岬東 24.2 海里で揚網中転覆。18 人中死者 2 人、行方不明 8 人
昭和 56 年 3 月 13 日	海難	底曳漁船第 55 大東丸 (349t) ベーリング海北緯 59 度西経 187 度付近で操業中、横波を受け転覆 26 人全員が行方不明
昭和 58 年 9 月 1 日	航空機事故	大韓航空機 007 便がモネロン島沖 40km 付近で撃墜され、乗員乗客 269 人全員死亡
昭和 60 年 4 月 23 日	海難	底曳漁船第 71 日東丸 (124t) 樺太東海域で転覆。16 人中 13 人行方不明
昭和 62 年 3 月 31 日	海難	底曳漁船第 85 初枝丸 (96t) 宗谷岬沖 60 海里で沈没。15 人中死者 1 人、行方不明 5 人
平成 4 年 11 月 23 日	海難	貨物船第 18 昭扇丸ノシヤップ沖で遭難。死者 3 人、行方不明 3 人
平成 6 年 8 月 12 日	大雨洪水	寒冷前線により 1 時間降水量 26.5mm、総雨量 76mm の集中豪雨を記録。床上床下浸水 10 棟、土砂崩れ 6 箇所、農地及び牧草被害 22 箇所など被害額 7,240 万円
平成 6 年 10 月 13 日	暴風波浪	低気圧の通過により、最大瞬間風速 37.9 m/s を記録。軽傷 1 名、住家被害 3 棟、非住家被害 9 件、農業用施設 46 件、漁船、漁具等の水産被害 24 件など被害額 5,250 万円
平成 7 年 7 月 24～25 日	大雨洪水	温帯低気圧の通過により、総雨量 102 mm を記録。床下浸水 18 棟、土砂崩れ 1 箇所、農地及び牧草被害 7 箇所、側溝埋塞・道路冠水など被害額 7,380 万円
平成 7 年 11 月 8 日	暴風雪 波浪 高潮	低気圧の通過により、最大風速 22.8m/s (歴代 5 位)、最大瞬間風速 44.9m/s (歴代 1 位) を記録。重傷 1 名、軽傷 4 名、住家一部破損 27 棟、営農施設等の農業被害 37 件、漁船等の水産被害 40 件、商工被害 24 件、教育施設・社会福祉施設等 15 件、離岸堤 2 基沈下、海浜地浸食など被害額 2 億 4,900 万円
平成 8 年 8 月 17～18 日	大雨洪水	気圧の谷の影響により、稚内地区で総雨量 97 mm、宗谷岬で 1 時間降水量 45 mm (歴代 1 位) の記録的な集中豪雨で 2 世帯が避難。山腹崩壊や土砂流出など 22 箇所、道路冠水 3 箇所、住家倒壊 1 棟、床上浸水 5 棟、床下浸水 20 棟など被害額 5,650 万円
平成 8 年 10 月 29 日	崖崩れ	さくらヶ丘団地 (こまどり 5 丁目) の東側で幅 80m、長さ 130m、高さ 20m に渡り土砂が崩れ、約 2 万 m ³ の土砂が流出。建築中のものを含め 4 棟の住宅、5 世帯 12 名が避難。自動車 1 台、道路・側溝 150m、上水道給水管 2 箇所、下水道管施設 2 箇所・マンホールポンプ施設 1 箇所、北海道電力(株)の電柱 1 本、トランス 1 基が崩落するなど被害額 2 億円
平成 9 年 8 月 3～4 日	大雨洪水	寒冷前線により総雨量稚内 76mm、宗谷岬 73mm、沼川 99mm、声間川小松橋 112mm の集中豪雨を記録。樺岡地区 (若草大橋下流) で増水のため乾草ロール 250 個が冠水し、うち 34 個が海上に流出、市道樺岡草地幹線の一部道路決壊、東浦地区で土砂が崩れ市道に流失するなど被害額 625 万円。
平成 9 年 8 月 7 日	大雨洪水	港 1 丁目国有林治山工事現場で土砂崩れの危険があり 12 世帯 18 名が一時避難。局地的な大雨により宗谷岬で 1 時間に 37.5mm、総雨量 117mm を記録。大岬・清浜・珊瑚地区で床上浸水 1 棟、床下浸水 6 棟、土砂崩れ 6 箇所、土砂流出 1 箇所、道路冠水 3 箇所など被害額 495 万円
平成 9 年 10 月 11 日	地滑り	市道こまどり 9 号通 (こまどり 3 丁目地内) が地すべりにより、市道幅 6m、長さ 36m にわたり崩落し、約 7,000 m ³ の土砂 130m が流出。5 世帯 11 名が避難。道路・側溝 36m、上水道給水管 100m、下水道管 70m 損壊、北海道電力(株)の電柱 1 本が崩落するなど被害額 1 億 1,765 万円
平成 10 年 9 月 16～17 日	暴風波浪	台風 5 号の通過により最大瞬間風速 30.3 m/s を記録。牛舎・店舗などの外壁一部破損や鮭定置網などの漁具が破損し、被害額 292 万円
平成 11 年 3 月 26 日	雪崩	市役所裏山で雪崩が発生し、落石防止柵と乗用車 1 台が一部破損し、被害額 290 万円
平成 11 年 7 月 30 日	大雨洪水	前線の影響により、稚内と沼川で総雨量 77mm、宗谷岬で 64mm を記録。25 日～28 日の長雨と大雨により、声間川と増幌川で警戒水位に達し、牧草ロール冠水 520 個、牧草地浸水 1,280ha、市道決壊 1 箇所、勇知川が増水し床下浸水 1 棟など被害額 1,767 万円
平成 11 年 8 月 20 日	大雨浸水	寒冷前線の影響により、稚内で総雨量 83mm、沼川で 53mm、宗谷岬で 63mm を記録。市内河川の増水や排水路の埋塞による市道冠水 2 箇所など被害額 130 万円
平成 11 年 8 月 22 日	大雨洪水	寒冷前線の通過により、稚内で総雨量 53mm、沼川で 61mm、宗谷岬で 45mm を記録。床下浸水 4 棟、牧草ロール冠水 467 個、牧草地冠水 213ha、横断管 1 本被災、林地の土砂崩れ 1 箇所、市道への土砂流出など被害額 705 万円
平成 11 年 8 月 27 日	大雨洪水	沼川で 1 時間に 35mm、総雨量 77mm の局地的な大雨により、床下浸水 1 棟、牧草ロール冠水 616 個、牧草地冠水 529ha、市道 3 箇所路肩決壊、市道 1 箇所土砂流出など被害額 1,053 万円

発生年月日	種別	災害状況
平成11年8月31～9月1日	大雨浸水	30日から降り続いた雨で沼川73mm、稚内35mmの総雨量を記録。牧草ロール冠水422個、牧草地冠水140haなど被害額321万円
平成11年9月25日	暴風	J.R.兜沼～勇知間で築堤が2箇所決壊し、一時不通となる 台風18号の通過により、最大瞬間風速27.9 m/sを記録。宗谷岬の市道防雪柵一部倒壊など被害額943万円 富磯～大岬地区で1時間の停電
平成12年10月1日	大雨浸水	気圧の谷の通過により、正午から1時間で45.5 mm、降り始めから総雨量88mmの豪雨となり、10月としては1位、年間としても2位を記録した。クサンル川の氾濫やチララウスナイ川の増水、排水路の埋塞などにより緑・大黒・萩見・中央地区などで床上浸水3棟、床下浸水20棟、斜面崩壊4箇所、土砂流出1箇所、道路冠水による通行止め3箇所など被害額2,900万円
平成12年11月21日	冬期風浪	低気圧の通過により、最大瞬間風速北の風25.2 m/sを記録し、風浪により潮見地区の護岸施設40mが決壊する。被害額2,000万円
平成13年2月2日	雪崩	大岬地区で雪崩が発生し、漁業倉庫の一部が損壊して被害額70万円
平成13年9月21日	小規模地すべり	稚内58番地先裏山で幅10m、長さ20mにわたり崩落し、約100 m ³ 土砂が流出した。漁業倉庫1階の一部が損壊し、被害額150万円
平成14年6月29日	火災	午後6時過ぎ、中央2丁目の中央レンバイから出火し、南西の風速8～9 m/sの強風にあおられ、瞬間に延焼した。全焼25棟、半焼2棟、部分焼4棟、延べ床面積8,845 m ² が焼失した。罹災世帯20世帯、罹災者41人のほか非居住者29人、被害総額16億4千万円
平成14年10月2日	暴風	台風21号が温帯低気圧に変わり、最大瞬間風速西の風29.9 m/sを記録。住家や営農施設などが一部損壊し、被害総額361万円
平成14年11月18日	暴風	低気圧の通過により冬型の気圧配置となり、最大瞬間風速南西の風33.2 m/sを記録。営農施設の一部損壊など被害総額583万円
平成14年3月3日	冬季風浪	低気圧の通過により、最大瞬間風速北北東の風25.1 m/sを記録。風浪により潮見地区の護岸施設40mが決壊し、被害総額2,000万円
平成15年4月17日	暴風	低気圧に伴う寒冷前線の影響で、最大瞬間風速南南西の風27.5 m/sを記録。住家の屋根や外壁、社会教育施設の窓ガラスなどが一部損壊する。被害総額204万円
平成15年5月1日	暴風	気圧の傾きが急激となり、最大瞬間風速南西の風34.1 m/sを記録。住家の屋根や外壁、市体育館の屋根、一般廃棄物処理施設などが一部損壊し、被害総額1,214万円
平成15年8月8日	大雨	発達した低気圧と前線の通過により、総雨量119mm、1時間最大雨量30mmを記録。局地的な大雨により、農業用排水路4箇所で法面崩壊し、被害総額8,500万円
平成16年3月11日	融雪	暖気及び降雨により、クサンル川の融雪が一気に進み、河川内を埋め尽くしていた雪が河床部に落ち込み、川水が増水し付近住宅、工場等に浸水した。床下浸水11件、床上浸水3件、工場設備等2件、被害総額1,267万円
平成17年11月22日	暴風	低気圧の通過により、最大瞬間風速西南西の風37.6 m/sを記録。住家の屋根や窓ガラス、稚内市地方卸売市場のシャッター、萩が丘浄水場の資材保管庫などが一部損壊し、被害総額1,312万円
平成18年10月8日	暴風	低気圧の通過により、最大瞬間風速北の風29.4 m/sを記録。大黒船場防波堤25mが決壊するなど港湾施設3件、宗谷のサケ定置網大破など水産設備8件、声間橋水銀灯折損の被害があった。被害総額1億1,161万円
平成18年10月19日	大雨	低気圧に伴う寒冷前線の通過により、沼川で総雨量81mmを記録。局地的な大雨により、床上浸水2件、床下浸水2件、酪農施設16件、被害総額650万円
平成19年10月8日	暴風	低気圧の通過により、最大瞬間風速西南西の風25.5 m/sを記録。強風の影響で学校施設の屋根が破損し、被害総額62万円
平成20年2月14日	暴風雪	発達した低気圧により、最大瞬間風速北の風22.2 m/sを記録。暴風雪の影響で水産加工場の建物の一部損壊及び機械の破損があり、被害総額1,000万円
平成20年2月23日	暴風雪	発達した低気圧により、最大瞬間風速北東の風25.9 m/sを記録。暴風雪の影響で社会教育施設の一部損壊があり、被害総額40万円
平成20年11月8日	暴風	発達した低気圧と寒冷前線の通過により、稚内で最大瞬間風速北北西25.9 m/sを記録。教育施設で3件、民間施設で2件の被害があり、被害総額160万円
平成22年2月26日	融雪	暖気に伴う融雪により、チララウスナイ川の水が溢れ、付近住宅・事業所等に浸水した。その他市内各地において浸水被害が発生した。また、社会教育施設の一部が損壊した。床上浸水6件、床下浸水7件、社会教育施設損壊2件、道路冠水7件、被害総額140万円
平成22年3月13日	暴風	発達した低気圧の影響により、稚内で最大瞬間風速南西の風29.7 m/sを記録。公共施設、水産施設、学校施設において一部損壊及び機器の破損が発生した。被害総額290万円

平成 22 年 9 月 20 日	大雨	寒冷前線の通過に伴い、稚内で 1 時間降水量 53.5mm を記録。床上浸水 2 件発生。
平成 23 年 9 月 9 日	大雨	気圧の谷の通過により局地的な大雨となり、稚内市潮見で 1 日降水量 80.0mm を記録。床上浸水 1 件、床下浸水 8 件発生したほか、冠水に伴う市道の通行止めが発生した。
平成 24 年 4 月 4 日	暴風雪	発達した低気圧と寒冷前線の通過により、稚内市開運で最大瞬間風速 28.3 m/s を記録。公共施設 3 件と市有物件 1 件で被害が発生した。被害総額 739 万円
平成 24 年 12 月 6 日	暴風雪	発達した低気圧の影響により、稚内市開運で最大瞬間風速 36 m/s を記録。住宅 11 件、公共施設等 17 件、営農施設 28 件、農業用機械 4 件の被害があった。被害総額 594 万円
平成 25 年 1 月 26 日	暴風雪	発達した低気圧の影響により、稚内市開運で最大瞬間風速 29.8 m/s を記録。住宅等 16 件、公共施設等 4 件の被害があった。被害総額 100 万円
平成 25 年 3 月 1 日	暴風雪	発達した低気圧の影響により、稚内市開運で最大瞬間風速 34.1 m/s を記録。公共施設 2 件の被害があった。被害総額 99 万円
平成 25 年 4 月 7 日	暴風	低気圧の発達に伴う強風により、市営住宅 1 棟の一部が破損。被害額 20 万円
平成 25 年 11 月 10 日	大雨	前線を伴った低気圧の影響による前日からの長雨により、緑 4 丁目でクサンル川法面が道路ごと崩壊するとともに、埋設された水道管が破損したことによる断水が一時的に発生した。また、体育施設の一部破損が 1 件、学校施設の一部破損が 2 件、民家の床上浸水が 1 件あった。被害総額 7,356 万円
平成 26 年 8 月 24 日	大雨	低気圧と寒気の影響により、前日と合わせ 191mm の大雨が降り、3 箇所でがけ崩れが発生したほか、床下浸水 4 件、農業被害 7 件、公共施設損壊 4 件、土木被害 34 件の被害があった。被害総額 4,831 万円
平成 26 年 11 月 3 日～4 日	暴風	低気圧の影響により稚内市開運で最大瞬間風速 29.7 m/s を記録。住宅 4 件、農業被害 13 件、公共施設損壊 4 件、水産施設損壊 1 件の被害があった。被害総額 1,652 万円
平成 26 年 12 月 17 日	暴風雪 ・波浪	低気圧の影響により稚内市開運で最大瞬間風速 29.8 m/s を記録。住宅 2 件、公共施設 4 件、その他施設 3 件、港湾施設 4 件の被害があった。被害総額 2 億 3,342 万円
平成 27 年 1 月 7 日	暴風雪 ・波浪	発達した低気圧により、稚内市開運で最大瞬間風速 30 m/s を記録。住宅 2 件、港湾施設 2 件の被害があった。被害総額 1 億 3,400 万円
平成 27 年 7 月 13 日	大雨	低気圧からのびる前線の影響により大雨となり、稚内市開運で 24 時間降水量 94.5mm を記録。牧草地冠水 319ha、牧草ロール冠水 470 個、農業用作業路陥没 1 件のほか、恵比須地区で崖崩れが発生した。被害総額 1,915 万円
平成 27 年 10 月 1 日～3 日	暴風	急速に発達した低気圧の影響により、稚内市宗谷岬で最大瞬間風速 41.2 m/s、稚内市開運で最大瞬間風速 37.4 m/s を記録するなど、市内全域で暴風となった。飛散物等により軽傷 3 名、住家被害（一部破損）113 件、非住家被害 63 件（うち全壊 21 件、半壊 42 件）、農業被害 117 件、土木被害 63 件、水産被害 99 件、林業被害 1 件、衛生被害 7 件、商工被害 6 件、公立文教施設被害 6 件、社会教育施設被害 18 件、社会福祉施設被害 3 件があったほか、最大 2,964 戸で停電となった。被害総額 2 億 5,672 万円
平成 27 年 10 月 8 日	暴風	台風 23 号の影響により、稚内市開運で最大瞬間風速 30.1 m/s を記録。住家被害（一部破損）5 件、土木被害 2 件、水産被害 12 件（うち定置網被害 10 件）、社会教育施設被害 1 件があった。被害総額 1 億 1,480 万円
平成 28 年 8 月 30 日	暴風	台風 10 号の影響により、稚内市宗谷岬で最大瞬間風速 28.9 m/s を記録。農業被害 5 件があった。
平成 28 年 9 月 5 日～7 日	大雨	低気圧と前線の通過により市内全域で激しい大雨となり、稚内市開運で 24 時間降水量 195.5mm を記録。河川の氾濫や崖くずれが相次ぎ、住家被害 34 件（うち床上浸水 12 件、床下浸水 22 件）、農業被害 7 件、牧草地冠水 740ha、牧草ロール冠水 1,100 個、土木被害 114 件（うち河川被害 26 件、道路被害 59 件、下水道被害 15 件、崖くずれ 14 件）、林業被害 1 件、衛生被害 5 件、公立文教施設被害 2 件、社会教育施設被害 2 件があった。被害総額 1 億 8,653 万円
平成 29 年 4 月 18 日	暴風	発達した低気圧の影響により、稚内市開運で最大瞬間風速 25.3 m/s を記録。農業被害 3 件があった。被害総額 100 万円

発生年月日	種別	災害状況
平成29年9月18日	大雨・暴風	台風第18号の接近・通過に伴い、稚内市宗谷岬で最大瞬間風速34.7m/s、24時間降水量84mmを記録。住家被害8件、非住家被害8件、農業被害8件、牧草地浸水32ha、土木被害2件、水産被害6件、林業被害1件、商工被害3件、公立文教施設被害1件、その他被害1件があった。被害総額892万円
平成29年11月11日	暴風・波浪	発達した低気圧の影響により、稚内市開運で最大瞬間風速32.9m/sを記録。住家被害4件、農業被害7件、土木被害7件、衛生被害1件、公立文教施設被害2件、社会教育施設被害1件、社会福祉施設被害1件、その他被害2件があった。被害総額2,475万円
平成29年12月25日	暴風雪・高波	発達した低気圧の影響により、稚内市宗谷岬で最大瞬間風速36.3m/sを記録。土木被害3件、文教施設被害1件、社会教育施設被害2件があった。被害総額821万円
平成30年2月23日～24日	暴風雪	発達した低気圧の影響により、稚内市開運で最大瞬間風速28.8m/sを記録。公立文教施設被害2件、その他被害1件があった。被害総額37万円。
平成30年3月1日～2日	暴風雪	発達した低気圧の影響により、稚内市開運で最大瞬間風速24.3m/sを記録。農業被害3件、その他被害2件があった。
平成30年9月6日～8日	大規模停電	平成30年北海道胆振東部地震により、道内全域で停電が発生し、市内では最大2日間停電となった。この影響により、生乳300トンの廃棄による農業被害が約3,000万円、鮮魚等の廃棄による水産被害が約1,400万円、観光客述べ役1万1,400人のキャンセルによる商工被害の見込みが約9,900万円となった。
平成30年10月15日	大雨・雷	寒冷前線の通過に伴い発生した雷により、稚内公園の門が破損。被害総額365万円

28-2 稚内市の避難場所

(1) 指定避難所

指定避難所名	所在地	電話番号
宗谷経済センター	中央2丁目	23-4400
港ふれあいセンター	港3丁目	24-5410
稚内港小学校	港4丁目	23-6707
南地区活動拠点センター	緑2丁目	73-1551
稚内市立図書館	大黒4丁目	23-3874
東地区活動拠点センター	潮見3丁目	34-6330
稚内東小学校	潮見5丁目	33-4341
稚内東中学校	潮見5丁目	33-7832
稚内高等学校	栄1丁目	33-4154
稚内大谷高等学校	富岡1丁目	32-2660
潮見が丘小学校	富岡4丁目	32-9147
富岡・はまなす地区活動拠点センター	富岡5丁目	34-5115
潮見が丘中学校	若葉台1丁目	34-3315
稚内北星学園大学	若葉台1丁目	32-7511
声問小学校	声問5丁目	26-2919
旧下勇知小中学校	勇知	
増幌小中学校	恵北	26-2850
旧樺岡小中学校	樺岡	
稚内市自然体験施設	上声問	74-2474
天北小中学校	沼川	74-2414
旧曙小学校	曙	
大岬小学校	宗谷岬	76-2010

※上記指定避難所は、土砂・地震・津波の3つの災害全てに対応した指定緊急避難所を兼ねる。

資料－総務部総務防災課

(2) 指定緊急避難場所

指定緊急避難場所名	所在地	電話番号	災害種別		
			土砂	地震	津波
旧稚内西小中学校	西浜2丁目		○		
稚内市総合体育館	富士見4丁目	28-1111	○		
北コミュニティセンター	恵比須4丁目	23-5755	○	○	
稚内市青少年会館	恵比須2丁目	23-7049	○		
稚内中学校	宝来5丁目	23-2354			○
宝来地区活動拠点センター	宝来4丁目	22-5150		○	○
稚内中央小学校	宝来4丁目	23-3042		○	○
稚内市体育館	宝来4丁目	23-3600			○
稚内総合文化センター	中央3丁目	22-2727		○	○
稚内市保健福祉センター	中央4丁目	23-4000	○	○	
稚内鈴蘭幼稚園	港3丁目	23-3237			○
稚内南小学校	緑1丁目	23-3329			○
稚内南中学校	緑1丁目	23-4128	○		○
稚内市総合勤労者会館	大黒3丁目	23-3643	○	○	
稚内市勤労青少年体育センター	大黒3丁目	23-7001	○		
声問コミュニティセンター	声問3丁目	26-2541	○		
旧更喜苦内小学校	更喜苦内		○		○
旧上勇知小中学校	上勇知		○		○
増幌コミュニティセンター	増幌	26-2947	○		○
沼川コミュニティセンター	沼川	74-2973	○		○
旧豊別小中学校	豊別		○		○
旧上修徳小中学校	天興		○		○
旧曲渕小中学校	曲渕		○		○
富磯小学校	富磯	77-2012	○	○	
宗谷小学校	宗谷	77-2010		○	
宗谷中学校	清浜	77-2019	○	○	
旧東浦小中学校	東浦		○		
富士見1丁目バス停裏山	富士見1丁目				○
稚内市総合体育館裏山	富士見4丁目				○
富士見団地裏山	富士見4丁目				○
ウロンナイ神社裏山	富士見4丁目				○
旧稚内西小学校裏山	西浜2丁目				○
泉宅裏山	西浜2丁目				○
マタルナイ地区裏山	西浜3丁目				○
道道稚内天塩線	西浜4丁目				○
抜海配水池	抜海				○
抜海神社裏山	抜海				○
航空自衛隊稚内分屯基地高台	ノシャップ				○
宗谷岬公園	宗谷岬				○
宗谷岬牧場	宗谷岬				○
稚内公園	中央1丁目				○
みどり公園	緑4丁目・5丁目				○
旧抜海小中学校	抜海				○

資料－総務部総務防災課

(3) 津波避難ビル（一時的に避難することができる施設）

津波避難ビル名	所在地
風の宿 宗谷パレス	富士見4丁目
富士見団地 13-1	富士見5丁目
恵比須団地 57-B-2	恵比須4丁目
恵比須団地 56-B-2	恵比須3丁目
恵比須団地 53-B-2	恵比須1丁目
宝来団地 15-1	宝来5丁目
宝来団地 22-1	宝来5丁目
禅徳寺	宝来2丁目
氷雪荘	中央1丁目
ホテルおかべ 汐彩亭	中央1丁目
サフィールホテル稚内	開運1丁目
中央団地 62-B-1	開運2丁目
ホテル滝川	港2丁目
ニューチコウホテル	大黒1丁目
稚内グランドホテル	大黒2丁目
ホテル奥田屋	大黒3丁目
稚内大黒住宅 501棟	大黒4丁目
稚内末広住宅 501棟	末広5丁目
稚内末広住宅 502棟	末広5丁目
稚内末広住宅 503棟	末広5丁目
稚内末広住宅 504棟	末広5丁目
ホテルメグマ	声問2丁目

資料一総務部総務防災課

(4) 福祉避難所（通常の避難所での生活が困難な方）

福祉避難場所名	所在地
特別養護老人ホーム富士見園 (ユニット型)	富士見5丁目
特別養護老人ホーム富士見園 (従来型)	富士見5丁目
デイサービスセンター潮見園	潮見3丁目
北海道稚内養護学校	声問5丁目
緑ヶ丘学園	声問5丁目

注：市からの要請により開設。

資料一総務部総務防災課